資料5

資料3別紙

アートを活かした障がい者の就労支援事業庁内連絡会議の概要

**１　会議メンバー**

政策企画部企画室計画課（計画グループ）

府民文化部都市魅力創造局文化課（企画グループ）

教育委員会事務局教育振興室支援教育課（支援学校グループ）

〔事務局〕

福祉部障がい福祉室自立支援課（社会参加支援グループ、就労・IT支援グループ）

**２　会議の実施概要**

第1回 平成26年5月20日（火）

 主な議題等

 ・事業の現状、課題の確認　　⇒事業の再構築が必要

 ・市場化に向けた展開の検討

 　文化課のノウハウ、ネットワークの活用、美術系人材へのアプローチの可能性

商品化への展開、商品化における支援学校のものづくり教育との連携の可能性　等

第2回 平成26年6月6日（金）

 主な議題等

 ・「市場化」の展開

 　⇒作品の販売だけでなく、アート性を活かした商品化という出口施策も必要

（施策のターゲットとしての「福祉施設」を意識した商品化支援事業の展開）

 ・府としてのアート活用施策、アーティスト支援の方向性

　　　　・ギャラリーとのネットワーク構築の可能性

 ・中間支援組織の検討

 　⇒実勢価格からは売買手数料で組織がまわる仕組みは現状では困難。まずは、作品

販売の実績づくりから

第3回 平成26年7月2日（水）

 主な議題等

 ・裾野拡大における支援教育課との連携の可能性

 　学校のニーズは商品化（ものづくり教育との連携）

美術系人材へのアプローチの可能性　　⇒まずは現場教師のニーズや意見の把握から

 ・議論をふまえた今年度の展開

⇒市場調査、クラウドファンディングによる作品販売経費の調達の実証実験